

子どもは森林の“何”に興味を示すのでしょうか？

根釧西部森林管理署 森林官 土居 拓務

研究の背景・目的

近年、環境教育の有意性が注目され、多くの自治体等で実施されています。

しかし、林業就労者数については、増加傾向にあるものの、依然として少ない現状です。

環境教育の質を、より一層、高めることにより、林業就労者数を増加させることができるのではないのでしょうか。より充実した環境教育を実施するための一助として、子ども達は森林の何に興味を示すのか、どのような子ども達が森林に関心を示しやすいのか等について考察しました。

研究の内容・成果

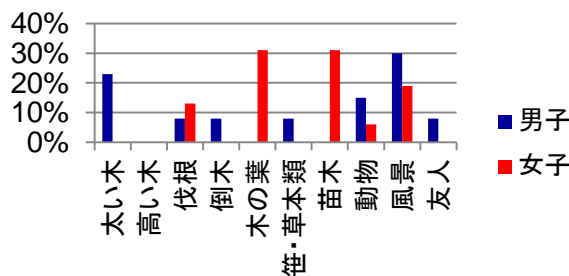
実際に環境教育の一つとして森林イベントを実施し、その前後でアンケートを採りました。

調査内容は、①子ども達が森林の何に関心を示したか、②どのような子ども達が森林イベントによって森林への関心を高めやすいか、③森林イベントの参加は将来の職業志向に関係があるか、です。

アンケート結果の分析から、以下の可能性が考えられました。

①子ども達が森林の何に関心を示したか

- ・子ども達は“高い木”には関心を示しにくい可能性がある
- ・女子は“苗木”や“葉”に関心を示しやすい可能性がある
- ・男子は“太い木”に関心を示しやすい可能性がある



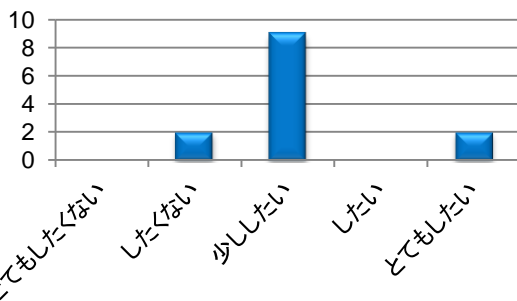
②どのような子ども達が森林イベントによって森林への関心を高めやすいか

- ・家で遊ぶことが多い子にとって、森林イベントはマイナスの影響を及ぼす可能性がある
- ・外で遊ぶことが多い子にとって、森林イベントはプラスの影響を与える可能性がある
- ・家でも外でも遊ぶ子にとって、森林イベントはプラスの影響を与える可能性がある

	7歳 (3)			8歳 (2)		9歳 (2)		10歳 (4)				11歳 (1)	12歳 (1)	平均影響
	男子A	男子B	男子C	男子D	男子E	女子F	女子G	男子H	男子I	女子J	女子K	女子L	女子M	
家が多い	-1	-2			0									-1
やや家が多い											0		0	0
どちらでもない								1		1				1
やや外が多い						0	0							0
外が多い			0	0					0			4		1

③森林イベントの参加と将来の職業志向に関係があるか

- ・今回、イベントの参加と職業志向には関係がなかった
- ・職業としての森林・林業には“壁”がある可能性がある



※調査対象が13名のため「可能性がある」という言葉に止めております。

今後の展開

今後もこのような“子ども達と森林との関わり”についての研究を継続し、より一層、環境教育を充実させるのが良いと考えられます。子ども達の特徴を捉え、充実した環境教育を実践することは、将来世代の林業労働力の確保に繋げることが期待できるからです。